

11月



# 新羽小だより

令和5年(2023年)10月30日

第595号

横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871

Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa>

## 変わるもの変わらないもの

副校長 浅川聡子

### 〈受け継がれる新羽の歴史と文化〉

10月27日、3年生による「注連引き(わら蛇づくり)体験」が、保存会の皆様やたくさんの保護者様のご協力のもと行われました。体育館に、幅広い世代の方が集まりました。子どもたちは、ただよわらの匂いの中、保存会の方々の話を熱心に聞き、鮮やかな手さばきに目を輝かせていました。人と触れ合い、五感を使って得た体験は、心に深く刻まれます。新羽だから味わえる本物の体験が、子どもたちを「新羽の未来を担う子」へと成長させていくのだと感じました。

6年生は「新羽の歴史」に着目し、総合的な学習の時間を進めています。資料やインターネットでわかる情報だけでなく、「もっと詳しく知りたい。」「直接お話を伺いたい。」と、地元の名士をお招きして、インタビューをしました。表現豊かな語り口に、子どもたちは引き込まれていました。これから、自分たちが学んだ新羽の歴史や文化を、下級生に引き継ぎたいと活動しています。学校は、郷土の伝統を次に渡す場でもあります。地域に貢献していく心が育つことをうれしく思います。



### 〈校内重点研究〉

新羽小学校では、国語科を中心に「自ら学び、ともに学びあう子どもの育成」～思いをもって伝え合う力を育成する授業づくり～を令和5年度の研究主題とし、授業力向上を目的に、年4回2クラスずつ、講師を招いて研究授業を行っています。

10月13日、6年2組と3年2組が授業を公開しました。6年2組は『「やまなし」を読んで、宮沢賢治のメッセージを考え伝え合おう』という単元。子どもたちは宮沢賢治の生き方から、人や生き物に向けられたやさしいメッセージを、心の深いところで受け取り表現していました。

3年2組では、『読んで 伝えて 私のおどろきポイント』という単元。子どもたちは、同じ教材文を読んでも、おどろきポイントがみんな同じではないことや、同じポイントでも理由が違うことに気付きました。同じものを見ても、同じことを経験しても、感じ方は人それぞれ違います。相手が考えていることは、聞いてみないとわかりません。子どもたちは、友達の見解を聞いて、自分の考えを広げたり、自分の考えに自信をもったりしていました。

変化の激しい社会を、自分らしくいきいきと生きるために、自分も仲間も大切にする。そして自分や仲間の考えをもとに、新たな価値を生み出せる力をつけてほしいと考えます。